

令和4年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

- 1 学習において、「主体的、対話的で深い学び」を実現するとともに、知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する「確かな学力」を育成する。
- 2 生命や人権を尊重し、自然や美しいものに感動する「豊かな心」を育むとともに、たくましく生きるための「健康・体力」を保持増進する。
- 3 これらを通じて、「生きる力」を育む教育活動の充実を図るとともに、生徒の個性を伸長させ、社会をリードする人材を育成する。

2 中期的目標

- 1 確かな学力の育成
 - (1) 授業力向上に向けた授業改善を行い、子ども一人ひとりに応じた学力向上への取組を進める。
 - ア 公開授業や研究協議の機会を設け、「主体的・対話的で深い学び」を導入した授業を展開する力を向上させる。
 - イ 学習のICT環境を一層充実させ、ICTを活用した授業に関する研修を充実させる。
 - ウ 正しい学習習慣を身につけるため、年度当初に学習意欲を高める取組、毎学期に生徒に学習・生活習慣を確認する取組、テスト毎に学習計画を作成させる取組などを実施し、学力向上をめざす。
 - エ 英検、学力調査などを活用し、生徒の学力を把握することで一層の学力向上をめざす。
 ※ 「生徒アンケート」において、「学校のさまざまな取り組みで、考える力や自主性をのばすことができる」の項目で、「よく当てはまる（ほぼ当てはまる）」と答える生徒の割合を令和6年度には90%以上にする。（R1：79% R2：85% R3：88%）
- 2 夢と志を持つ生徒の育成に向けた指導計画の確立
 - (1) 分野別学習の充実を図り、高等学校の系列につながる取組を進める。また、6年間を見通した体系的、系統的なキャリア教育を行う。
 - ア 部活動、文化発表会、研修（修学）旅行等において、分野ごとの取組を進める。
 - イ キャリア教育の取組をすすめ、生徒が将来の進路や職業について考える機会を設ける。
 ※ 「生徒アンケート」において、「将来の進路や職業について考えている」の項目で、「よく当てはまる（ほぼ当てはまる）」と答える生徒の割合を令和6年度には70%以上にする。（R1：56% R2：66% R3：63%）
- 3 安心安全で魅力ある学校づくり
 - (1) 生徒の規範意識の醸成し、ルールやマナーを進んで守る生徒集団を育成する。
 - ア 「あいさつをする」「服装を正す」「時間を守る」の三点について、全教職員で指導し、ルールやマナーを進んで守る生徒集団を育成する。
 ※ 「保護者アンケート」において、「学校は生徒がルールを守るように適切な指導をしている」の項目について「よく当てはまる（ほぼ当てはまる）」と答える保護者の割合を令和6年度には95%以上にする。（R1：92% R2：92% R3：92%）
 - (2) 健康や体力を保持する力を育成する。
 - ア 保健委員会や体育委員会の活動・給食指導を通して、健康維持や体力保持について生徒・保護者の意識を高め、適切な判断力を養う。
 - イ 校内の救急体制を整え、けがの防止や疾病予防など安全に対する意識を高めるとともに、熱中症や感染症予防、食物アレルギー対策について指導の充実を図る。
 ※ 「保護者アンケート」において、「学校は健康管理の指導に努めている」の項目について「よく当てはまる（ほぼ当てはまる）」と答える保護者の割合を令和6年度には90%以上にする。（R1：83% R2：80% R3：86%）
 - (3) 生徒・保護者が安全で安心できる教育環境を実現する。
 - ア 生徒や保護者に向けて、学校ホームページや通信などを通し、教育環境に関する情報を発信する。
 - イ 学校カウンセラー等を活用し、個々の生徒の心のケアを図る。
 - ウ 心理テスト等を活用して、その分析結果から、支援の必要な生徒を見逃さず、的確に把握し、いじめ・不登校など未然防止に努める。
 - エ 人権教育を推進し、人への思いやりのある生徒を育成する。
 ※ 「保護者アンケート」において、「学校は人への思いやりや人権を大切にする生徒の育成に努めている」の項目について「よく当てはまる（ほぼ当てはまる）」と答える保護者の割合を令和6年度には90%以上にする。（R1：83% R2：79% R3：87%）
- 4 校務の効率化と働き方改革の推進
 - (1) 学校保健委員会、安全衛生委員会を活性化し、生徒・教職員の健康管理体制を充実させる。
 - ※ 時間外勤務月80時間以上の職員の割合を令和6年度には10%以下にする。（R3：12%）

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R3年度値]	自己評価
1 確かな学力の育成	<p>(1) 授業力向上に向けた授業改善、子ども一人ひとりに応じた学力向上への取組</p> <p>ア「主体的・対話的で深い学び」を導入した授業を展開</p> <p>イICT学習環境の充実</p> <p>ウ生徒に学習・生活にかかわる学力向上の取組</p> <p>エ英検等を活用した取組</p>	<p>ア 「主体的・対話的で深い学び」を導入した授業を展開する力を向上させるため、公開授業を実施する。</p> <p>イ 座学においては、すべての授業でICTを活用した授業を実施する。</p> <p>ウ 毎学期、生徒に学習・生活に関する「自己評価表」を作成させる。「学びの型」を配付し目標を共有する、生徒に定期テストや長期休業前に「学習計画表」を作成させる。</p> <p>エ ②英検、学力調査を活用することで生徒の学力を学校が把握し、保護者懇談等で学力の課題を保護者に示す。</p>	<p>ア 全員、「主体的・対話的で深い学び」の視点を含んだ公開授業（校内研究授業）を年間1回以上実施する。 [R3 計11回]</p> <p>イ 座学においてICTを活用した授業を95%以上にする。 [R3 92%]</p> <p>ウ 「生徒アンケート」において、「日々の学校生活を通して、正しい学習態度が身につくよう努力している。」の項目で、「よく当てはまる(ほぼ当てはまる)」と答える生徒の割合を75%以上にする。 [R3 71%]</p> <p>エ 「生徒アンケート」において、「日々の学習を通して学力の向上が感じられる」の項目で、「よく当てはまる(ほぼ当てはまる)」と答える生徒の割合を70%以上にする。 [R3 61%]</p>	
2 夢と志を持つ生徒の育成に向けた指導計画の確立	<p>(1) 分野別学習の充実・系統的なキャリア教育の推進</p> <p>ア分野ごとの取組</p> <p>イ生徒が将来の進路や職業について考える機会の設置</p>	<p>ア 文化発表会においては全員が、分野別学習と取組の発表を行う。 研修（修学）旅行においては、1日を分野別学習の日とし、大学等で研修を行う。</p> <p>イ 生徒が将来の進路や職業について考える機会を設けるため、高校生や卒業生による進路講話を実施する。</p>	<p>ア 「生徒アンケート」において、「高校での系列学習につながるよう分野学習に積極的に取り組んでいる」の項目で、「よく当てはまる(ほぼ当てはまる)」と答える生徒の割合を80%以上にする。 [R3 76%]</p> <p>イ 高校生や卒業生による進路講話を1回以上実施する。 [R3 1回]</p>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 安心安全で魅力ある学校づくり</p>	<p>(1) 生徒の規範意識の醸成 ア ルールやマナーを進んで守る生徒集団の育成</p> <p>(2) 健康や体力を保持する力の育成 ア 健康維持や体力保持への意識の醸成</p> <p>イ けがの防止・疾病予防</p> <p>(3) 安全で安心できる教育環境の実現 ア 教育環境に関する情報の発信</p> <p>イ 学校カウンセラー等の活用</p> <p>ウ いじめ・不登校など未然防止</p> <p>エ 人権教育の推進</p>	<p>ア 「あいさつをする」「服装を正す」「時間を守る」の三点について、校門指導、中学校集会、学活などを通じて、全教職員で指導する。</p> <p>ア 体力保持への意識を高めるため、保健委員会・体育委員会の③活動を通して、健康維持や体力向上の啓発を行う。 ④給食指導を通して生徒・保護者へ健康維持や適切な判断力を養ための食育を行う。</p> <p>イ 救命救急講習会を実施し、災害発生時の対応及び危機管理の意識を高める。 ア レルギー対応について、校内の体制を整え、⑤日々の食材について保護者と確認を行うことで事故防止を図る。</p> <p>ア 学校ホームページを積極的に更新し、生徒や保護者に向けて、教育環境に関する情報を発信する。</p> <p>イ 学校カウンセラーを活用し、特に不登校の生徒に関するケアを充実させる。</p> <p>ウ 支援の必要な生徒を見逃さず、的確に把握し、いじめ・不登校など未然防止に努めるため、心理テストを実施する。</p> <p>エ 中高合同の人権教育研修会を実施する。</p>	<p>ア 「生徒アンケート」において、「学校のルールをすすんで守るように心がけている。」の項目で、「よく当てはまる(ほぼ当てはまる)」と答える生徒の割合を85%以上にする。 [R3 83%]</p> <p>ア 「生徒アンケート」において、「私は、自分の健康管理を心がけている」の項目について「よく当てはまる(ほぼ当てはまる)」と答える生徒の割合を70%以上にする。[R3 67%]</p> <p>イ 救命救急講習会を1回実施する。[R3 1回]</p> <p>ア 学校ホームページを年100回以上更新する。</p> <p>イ 新たに不登校になる生徒をゼロにする。 [R3 2人]</p> <p>ウ 心理テストを各学年2回以上実施し、生徒の心の状態の把握に努める。 [R3 2回]</p> <p>エ 研修会を1回以上実施する。[R3 1回]</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">4 働き方改革の推進と校務の効率化と</p>	<p>(1) 生徒・教職員の健康管理体制を充実</p>	<p>学校保健委員会、安全衛生委員会を活性化し、生徒・教職員の健康管理体制を充実させる。</p>	<p>時間外勤務月80時間以上の職員数10%以下をめざす。[R3 12%]</p>	